

ドッジボール競技要綱

文責:吉崎莉杏、堀尾拓人

【日時】

2026 年 5 月 16 日 (土)

5 月 17 日 (日)

【会場】

第二体育館

【部門】

男子部門

〈出場基準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・女子の登録可。但し、ハンディキャップあり。(ルール参照)

女子部門

〈出場基準〉

- ・特になし。

〈登録制限〉

- ・男子の登録不可。

※同一種目内で 1 人が複数のチームに所属することは禁止とする。

※予選以降の交代要員の追加は認めない。

【ルール】

- ・原則として日本ドッジボール協会のドッジボール競技規則に準ずる。
- ・試合規定人数は 1 チーム 8 人だが、試合開始最低人数は 1 チーム 6 人。
- ・交代要員は 8 人まで登録可能である。但し最大登録人数は 16 人とする。
- ・試合開始時間から 5 分過ぎても試合開始最低人数に満たない場合は不戦勝とする。
- ・試合開始時に試合規定人数に満たない場合は、試合開始後の出場人数の増加を禁止する。
- ・遅刻は最大 5 分まで許可する。ただし 5 分を超えた場合は、間に合っているチームの勝ちとする。その後ゲームをする場合、試合結果が大会に影響しないエキシビジョンマッチを次の試合開始 10 分前までであれば行うことができる。

両チームの集合人数が 0 人の場合、その試合は削除する。

片方のチームの集合人数が 0 人、もう片方のチームの集合人数が 6 人未満であるとき、集合人数が 6 人未満のチームが不戦勝となる。

また両チームの集合人数が共に 6 人未満であるとき、勝敗はじゃんけんで決める。(集合人

数の大小では決めない。)

- ・試合開始時の外野の人数は1チーム3人であり、これを元外野と呼ぶ。試合中、外野は常に1チーム3人以上存在していなければならない。
- ・ハンディキャップ：男子部門において女子はビブスを着た状態で試合に参加する。ビブスを着た状態でボールに当たった場合内野に残ったままビブスを脱ぎ、脱いだ状態で当たった場合外野に移動する。つまり、女子を外野に移動させるためには2回ボールをあてる必要がある。
- ・試合前にじゃんけんを行い、勝ったチームがコートを選択する。
- ・試合開始はジャンプボールで行う。但し、ジャンパーは内野に限る。
- ・ジャンプボール後の内野からの第一投目でジャンパーを攻撃してはならない。

アウト・セーフ

- ・相手のノーバウンドの投球に当たって取れなかった場合はアウトとする。但し、相手の投球したボールが当たっても、味方の内野がそのボールをノーバウンドで取れた場合はセーフとする。
- ・相手の投球したボールがノーバウンドで1人以上に当たり、そのボールを味方の内野が取れなかった場合は当たった全選手をアウトとする。
- ・首から上に当たった場合はセーフとする。但し、故意に当たりに行ったと判断できる場合はアウトとする。
- ・ジャンプボール後1プレー目にジャンパーが故意にボールに当たりに行ったと判断できる場合はアウトとする。
- ・相手の投球に反則があった場合はセーフとする。
- ・たとえプレイヤーがボールをキャッチしたと認識していても捕球時にボールが地面に付いていたと判断された場合はアウトとなる

反則

以下の行為が行われた場合は反則となり相手ボールとする。

- ・ボール保持者、投球者がラインを超える、または相手コートに入る。
- ・15秒以上ボールを保持する。
- ・審判が危険と判断したプレーをする。
- ・相手チームのコートにあるボールを奪う。
- ・内野に戻ろうとする外野への攻撃をする。

ボールの支配権

- ・内外野ともに、ラインを基準に判断する。壁等に当たって跳ね返った場合もこれに準ずる。
- ・パスを連続で行い、明らかに相手への攻撃意思がないと審判が判断した場合は相手ボール

とする。（相手の頭上を越える投球や、明らかに相手のいない所にボールを投げた場合は攻撃意思がないと判断する。）

- ・内野間、外野間のボールの受け渡しもパスとみなす。
- ・ライン上でボールの取り合いとなった場合は開始時のジャンプボールでボールを獲得していないチームのボールとする。以降は交互にボール支配権を有する。

内野・外野

- ・外野は相手をアウトにした時のみ内野に戻ることができる。
- ・元外野は外野が 4 人以上になる時に内野に戻らなくてはならない。
- ・外野は相手をアウトにした後、速やかに内野に戻らなければその権利は無効となる。
- ・外野が 3 人の時に相手をアウトにした場合、元外野用のビブスを着用し、外野が 4 人以上になった時に内野に戻る権利が与えられる。ただし、外野が 3 人である限りは内野に戻ることはできない。
- ・元外野の人はビブスを着用し、内野に戻る際は審判にビブスを渡さなければならない。その時点で元外野でなくなる。
- ・故意にラインを超えることを禁止とする。もし超えた場合は、反則行為があったそのチームの相手側のチームにボールを渡し、ゲームを再開する。

交代

- ・交代要員は外野との交代でのみ出場可。（但し、審判に交代を申し出なければならない。）
- ・元外野と交代する場合はビブスごと交代する。
- ・試合進行の妨げにならない限り、いつでも交代可能。（一度交代して試合から抜けた選手でも同試合で再度交代し試合に参加できる。）選手の交代中はストップウォッチを押して、時間経過を一時停止する。交代が終わり次第、ストップウォッチを押して試合を再開させる。

【試合形式】

以下のいずれかの形式で行う。

トーナメント形式

- ・試合規定時間を 10 分とする。
- ・試合規定時間に達した場合は内野の残りの人数で勝敗を決める。
- ・準々決勝までは試合規定時間に達した時点で内野の残りの人数が同数の場合は代表者によるジャンケンで勝敗を決める。
- ・決勝戦、準決勝戦、3 位決定戦では試合規定時間に達した時点で内野の残りの人数が同数の場合は 5 分間の延長戦を行う。それでも勝敗が決まらない場合は 5 分間の延長戦で相手の内野を先に当てたチームの勝ち抜けが決定する。

リーグ形式

第 50 代スポーツ・デー学生委員会

- ・ 試合規定時間を 10 分とする。
- ・ 試合規定時間に達した場合は内野の残りの人数で勝敗を決める。
- ・ 勝利チームに 3 点、同点の場合は両チームに 1 点の勝ち点を与え、勝ち点の多い順に順位を決める。勝ち点と同じ場合は内野の残りの人数差、当該チーム間の勝敗の順に順位を決める。それでも決まらない場合は代表者によるジャンケンで順位を決める。

【審判】

スポーツ・デー学生委員会

【注意事項】

- ・ 遅刻者は審判に申し出た上で、交代でのみ出場可能である。
- ・ 選手本人が選手登録されていないチームで出場することは禁止とする。
- ・ 不正出場があったチームは失格とする。
- ・ 試合では、スポーツ・デー学生委員会の用意したボール以外の使用は禁止とする。
- ・ 会場内での食事、喫煙は禁止とする。
- ・ 室内用シューズを必ず着用する。
- ・ 審判の指示に従わない場合は何らかの措置をとることがある。
- ・ 試合の 5 分前までに試合開始最低人数(6 人)以上来た場合のみ、ボールの貸し出しを許可する。またこのとき、試合が直前のチームを優先する。ただし、その貸し出しの時間にボールがなくなってしまった場合は、選手・チーム側の責任となる。